



幸運は準備された心に宿る

体育担当

統合から半年、新しい校舎のもと、環境の変化に戸惑いながらも、子どもたちは少しずつ新しい生活に慣れ、仲間とのつながりを深めてきました。

今年度は、山崎南小学校として迎える記念すべき第一回の運動会。地域の思いを大切にしながら、全校児童の輝く姿をどのように表現するのか。また、児童がどうすればモチベーションを上げて「力を出し切った」と感じられるのか、今年度の運動会を計画する中での課題でした。

練習初日には全校オリエンテーションを行い、運動会の目的や心構えについて話をしました。その中で、フランスの学者ルイ・パスツールの「幸運は準備された心に宿る」という言葉を紹介し、「この2週間の”いい準備“の期間にしよう」と子どもたちに伝えました。

2週間の練習期間、その言葉どおり、一人ひとりが目標をもって練習に励み、仲間とともに力を高め合う練習ができました。学年や発達段階に合わせて、「今できることを精一杯やろう」と前向きに臨む姿に、指揮をしながら素直に感動しました。特に最高学年である6年生の成長は大きく、ただ指示を聞いて動くのではなく、どうすれば良くなるかを自分たちで考えながら下級生に伝え、実行できました。きっとその一生懸命な姿に憧れて、5年生をはじめとした下級生たちが6年生になったときの指標となることでしょう。

そうした日々の積み重ねの中で、初めは緊張していた表情が少しずつ柔らかくなり、笑顔が増えていきました。互いを認め合い、励まし合う姿があちこちで見られるようになり、まさに子どもたち一人ひとりの心が耕されていくのを感じました。
迎えた運動会当日。子どもたちはこれまでの練習

の成果を存分に発揮し、最後まで全力でやり切りました。勝っても負けても、互いをたたえ合う姿、はじける笑顔、応援の声が校庭いっぱいになり、学校全体が一つになった一日でした。保護者や地域の皆さん、温かい拍手、掲示物づくりなどで士気を高めてくれた職員の協力も、子どもたちの力を後押ししてくれました。

一生懸命がんばる人の姿は、見ている人の心を動かし、元氣や勇気を与えてくれます。運動会には、その力があると私は信じています。

今年度の運動会は、「いい準備をした人に幸運が訪れる」という言葉のとおり、子どもたちが努力の中でつかみ取った幸運を、自らの姿で証明してくれました。これからも、子どもたちと共に励まし合いながら、心が耕されていくような学校をつくっていききたいと思います。たくさんの応援をありがとうございます。

あこがれが未来を拓く

山崎南・山崎中が連携して取り組むキャリア教育、
キャリア教育担当

最近、「キャリア教育」という言葉をよく耳にされると思います。いったいどんな教育なのでしょう。文部科学省によると、子どもたち一人ひとりが社会で自立して生きていくために必要な力や態度を重視して取り組むのが「キャリア教育」であり、自己理解に基づいて自らの可能性に気づき、他者と協力しながら生きていくための「基礎的・汎用的能力」の育成が目標であるとしています。

本校では、教科学習や体験活動はもちろんのこと、行事等すべての活動を通して、「めあて（目標）」をもち、ふり返り、次の学びに生かす」ことを柱として取り組みを進めています。この一連のサイクルこそが、予測困難なこれからの時代を生き抜く力の育成に

つながると考えています。

10月、高学年を中心に、山崎南中学校の体育祭練習や予行演習を見学させてもらいました。中学生の規律ある行動や迫力あふれる演技、そして何事にも真剣に取り組む姿は、子どもたちにとって大きな刺激となりました。「中学生はすごかったよ」「ぼくたちもあんなふうになりたい」といった声が多く聞かれました。この「あこがれ」の気もちこそが、「自分もあんなふうになるんだ」という成長への原動力になると思います。

そんな「あこがれ」の気もちを胸に、小学校の運動会練習がスタートしました。各学年で、「どんな運動会にしたいか」「そのために何をがんばるか」を話し合い、具体的なめあて（目標）を立てました。「全員で力を合わせて最高の演技にする」「最後まであきらめずにバトンをつなぐ」「見ている人に元気を届ける」などのめあて（目標）をもち、一人ひとりが主体的に練習に取り組むことができました。友だちと意見を交わして演技の修正をしたり、上級生が下級生に優しく教えたりしながら苦手なことにも臆することなく挑戦する姿が見られ、充実した練習期間になったと嬉しく思っています。

本番では、練習で培ってきたことが十分に発揮され、勝ち負けだけにこだわることなく、子どもたち自身も充実感をもつことができた運動会になりました。友だちと励まし合いながら全力を出し切る姿、友だちを支える姿が印象的でした。「リレーでは転んでしまったけれど、次の子にバトンが伝わってよかった」「みんなでかけ声をかけ合ったら、ダンスが完璧にそろってうれしかった」といった感想からも、めあて（目標）に向かって挑戦し、実践したことをふり返り、協力することの大切さを子どもたちが実感していることが伝わってきました。

失敗を恐れず挑戦するためには、様々な人と関わり、様々な生き方や考え方にふれることが重要です。人間は、自分以外の価値観にふれ、自分のことをふり返るからこそ、成長への意欲をもてるのです。山崎南小・山崎南中では、こういったことを繰り返し経験することが重要であり、小・中学校が連携して取り組むことで、

組むことで、「VUCA時代（予測困難な時代）」を生き抜くための力の育成につながっていくと考えています。

運動会のあとのふり返りでは、「目標に向かって努力できたから達成感がある」「仲間の支えがうれしかった」「来年はもっと難しい技に挑戦したい」など、前向きな意見が多く聞かれました。これは、キャリア・パスポートにも記録され、子どもたち自身の成長の軌跡（ふり返り）として残されていきます。キャリア・パスポートは、小学校から中学校へ、そして高校へと引き継がれ、いつでも過去の自分に向き合うことができる日記のようなものです。それだけではなく、教科学習や生活の中でも常にめあてをもち、挑戦し（実践し）、仲間と成長を確かめ合う（ふり返る）ことができるかけがえのないツールなのです。

今後、山崎南小・山崎南中が連携を密にしながら、子どもたち一人ひとりの意識を高め、山崎南校区ならではの「キャリア教育」を進めていけたらと思っています。保護者・ご家族のみならず、地域のみならずにおかれましては、温かいご支援・ご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

行事予定

11月

- 13日(木) 3年生 環境体験事業 (国見の森・宍粟消防署)
- 19日(水) 集金日(PTA会費・学習費)
- 26日(水) 学習発表会リハーサル
- 29日(土) 学習発表会

12月

- 1日(月) 振替休業日
- 3日(水) クラブ
- 4日(木) 6年生 茶道教室
- 7日(日) PTAリサイクル活動
- 8日(月) 小中合同研修会のため 14:30 下校
- 9日(火) 5年生 華道教室
- 12日(金) 校内マラソン記録会
- 14日(日) PTC Aフォーラム